

後期基本計画

平成18年度(2006年度)～平成22年度(2010年度)

後期基本計画

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

第2章 水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり

第3章 英知を伝え、心豊かな明日を育むまちづくり

第4章 創造性と活力にみちたまちづくり

第5章 多彩なふれあいが広がるまちづくり

第6章 まちづくりの推進に向けて

基本計画の目的・構成・期間・指標

1 基本計画の目的

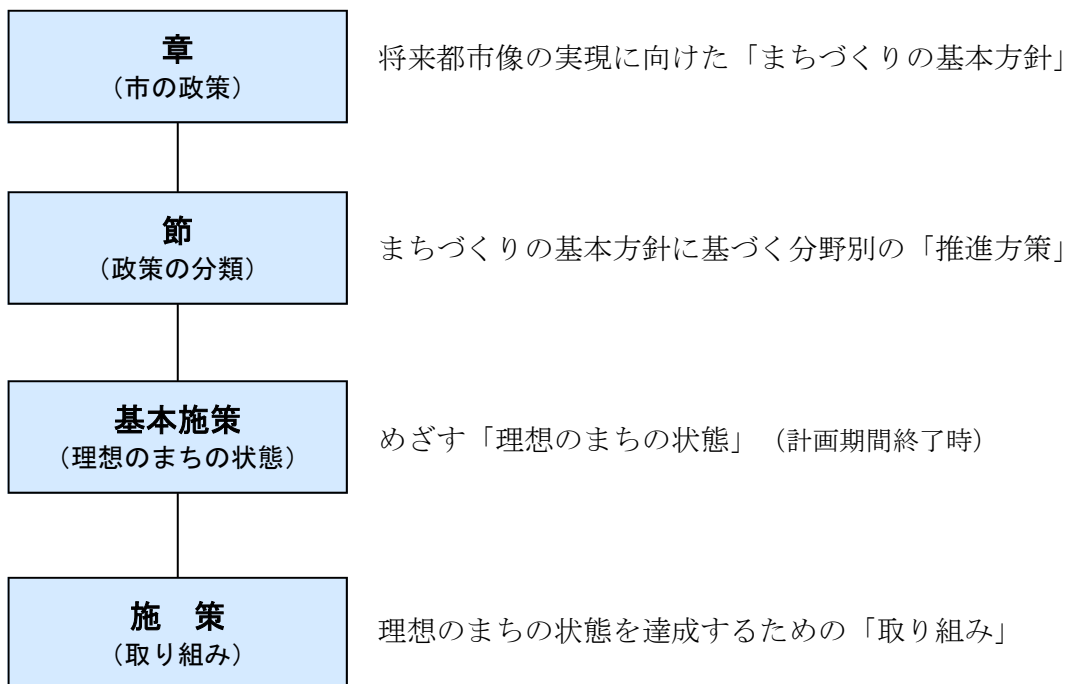
基本計画は、基本構想の実現のための基本的な施策を体系的に定めたもので、市政運営を総合的かつ計画的に進めていくことを目的としています。

本基本計画は、第3次佐倉市総合計画の前期基本計画（平成13年度～17年度）の後計画として位置づけられるものであり、「後期基本計画」と呼びます。

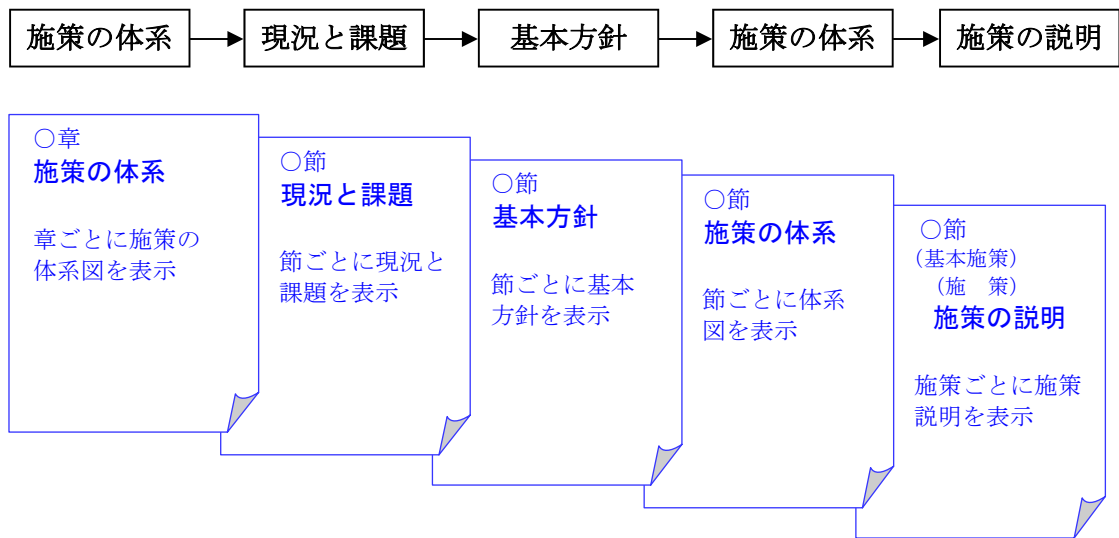
第3次佐倉市総合計画	基本構想
前期基本計画	後期基本計画

2 基本計画の構成

基本計画は、基本構想の5つのまちづくりの基本方針と、その実現に向けての行政運営方針の6つの分野ごとに、体系的に構成されています。



○本書の構成は、章・節ごとに次のようになっています。



3 基本計画の期間

後期基本計画の期間は、平成18年度（2006年度）を初年度とする平成22年度（2010年度）までの5年間とします。

4 基本計画の指標

(1) 総人口

佐倉市の総人口は、かつてのような大幅な人口増加は見られないものの、本計画期間終了時においては、微増の概ね17万6千人になるものと予測されます。

(2) 世帯数

佐倉市の世帯数は、総人口の増加に比べて、わずかに増加の傾向が高まるものの、本計画終了時には、総人口と同様に微増となるものと予測されます。

(3) 年齢構成

佐倉市の年齢構成は、引き続き少子高齢化の進展などの影響を受け、年齢構成別には、次のように変化していくものと見込まれます。

①年少人口（0～14歳）

我が国全体として少子化が進む中において、佐倉市の年少人口は、わずかずつではありますが、減少していくものと見込まれます。

②生産年齢人口（15～64歳）

佐倉市の生産年齢人口は、総人口が微増となる反面、高齢化の進展により、減少していくものと見込まれます。

③老年人口（65歳～）

佐倉市の老年人口は、高齢化の進展により、引き続き増加していくものと見込まれます。

(4) 就業者

佐倉市の就業人口は、生産年齢人口の減少とともに減少していくものと予測されますが、今後の景気の状態や高齢者の就業など、増減が生じる要素もあります。

産業別に占める割合は、第3次産業がわずかに増加し、第1次産業・第2次産業はわずかに減少していくものと予測されますが、就業者数については、割合が増加する第3次産業就業者数も減少していくものと見込まれます。

